

## 授業科目

## 臨床実習II

担当教員名 臨床技術学科全教員	対象学年	4	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

## 授業の概要

臨床技術者として臨床検査技師の行う業務等について現場の見学実習により、学内で学んだことを再認識すると同時に実際的な技術を習得する。またチーム医療における臨床技術者としての役割と、関連他職種との関わりについて理解する。

## 授業の目的

臨床検査部において生体検査、検体検査他を見学実習を通じて理解する。

## 学習目標

1. 検査を実施するまでの準備ができる。
2. 被検者（患者）を誘導し、被検者に対して行う検査を説明できる。
3. 接遇を学び、被検者への配慮ができる。
4. 被検者を誘導し、生体から情報を得るための設定を行うことができる。
5. 検査機器を操作し、記録または描出することができる。
6. 操作中に発生したアーチファクトを発見し、それを除去することができる。
7. 検査依頼、予約から報告までの流れを説明できる。
8. 正常データや日常遭遇しやすい代表的な異常データを解析できる。

## 授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
循環機能検査業務	臨床実習
呼吸機能検査業務	臨床実習
神経機能検査業務	臨床実習
感覚機能検査業務	臨床実習
画像検査業務	臨床実習
血液検査業務	臨床実習
病理検査業務（含む細胞検査）	臨床実習
一般検査業務（含む寄生虫検査）	臨床実習
臨床化学検査業務	臨床実習
輸血・免疫検査業務	臨床実習
臨床微生物検査業務	臨床実習
遺伝子検査業務	臨床実習

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	臨床実習ガイドブックを配布する。					

## 評価方法

臨床実習生評価報告書にて評価する。

## 履修上の留意点

臨床実習は、先輩の臨床検査技師が医療の現場でどのように医療と関わっているかを知ることが第一目的であるから、真摯な態度で実習に取り組んで欲しい。

## オフィスアワー・連絡先

初回で各教員から連絡します。